

## 社名変更について



### 【防犯効果に非常に高いネットワークカメラシステム】

ファーストエイブ社（創業者 山崎寛之）は、2006年4月創業以来、お客様の要望から最大限の機能重視で提案し、監視カメラにおいて確実な提案力で高い信頼を誇っております。

MIDグループ（本社：京都市山科区 創業者 北村義匡）の傘下に入ることによって、お互いの強みを活かした相乗効果で、より多くの大型施設とのつながりを広め様々な事業機会を創出できる好機と捉えております。

2016年6月11日にエムアイディ・ファースト株式会社に社名変更をしました。

### 【合致したニーズ】

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、政府は年間の訪日外国人旅行者数を2,000万人とする目標を掲げており、日本における外国人の安心・安全の確保が普通に出来る環境を整えるために至る所へカメラ設置を展開していく事が急務となります。お互いの強みを活かした相乗効果で、より多くの大型施設とのつながりを広め様々な事業機会を創出できる好機と捉えております。

### 【今後の展開】

エムアイディ・ファースト社は、エムアイディの警備事業やMIDグループが既に行っている人材事業、環境事業との連携を図ることで、全国に向けたネットワークカメラビジネスをさらに充実させるとともに、BM事業、不動産、海外事業、エンターテインメント、など新分野への事業展開を目指します。また、ますます増加が見込まれる防犯対策に取り組む日本企業へのマーケティング支援、コンテンツ制作立案などのセキュリティ事業、MIDグループの知見を活かした海外向け大型イベントの開催と連携の可能性も探るなど、事業の強化・多様化に注力してまいります。